

流山市立新川小学校
校長 長谷川 伸一

令和5年度学校評価調査の結果について

このことについて、以下のようにまとめましたのでお知らせいたします。一昨年度から設問項目を見直し、児童の項目も加えましたので経年比較が可能になりました。尚、児童の項目で設問自体がなかったものは斜線で示しております。数値は、4段階評価の数値の平均となっています。

1 学校について

番号	項目	保護者		児童		教職員	
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1	学校は、教育方針や教育活動をわかりやすく説明している。	3.06	3.10			3.56	3.56
2	学校行事は、それぞれ充実し、教育効果を上げている。	3.09	3.26			3.44	3.69
3	学校は、いつもきれいに整理・整頓されている。	3.01	3.02	2.51	2.82	3.04	2.94
4	学校は、子どもの安全を守るために努力している。	3.18	3.25	3.40	3.49	3.59	3.69
5	学校は、いじめ防止のための取り組みを適切に行っている。	2.92	2.93	3.26	3.37	3.59	3.59

2 児童について

番号	項目	保護者		児童		教職員	
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1	お子様は、明るく健康的な小学校生活を送っている。	3.34	3.40	3.47	3.53	3.44	3.47
2	お子様は、前向きに学習し、学年にふさわしい学力が身につけている。	2.99	3.01	3.30	3.39	3.11	3.00
3	お子様は、けじめある生活をしている。(あいさつ、言葉遣い、時間を守る等)	2.86	2.93	3.23	3.25	3.22	2.94
4	お子様は、友達に対して思いやりがあり、仲良くしている。	3.19	3.20	3.42	3.51	3.26	3.34
5	お子様は、情報端末(タブレット等)を有効に活用して学習に取り組んでいる。	2.83	2.73	3.49	3.53	3.30	3.38

3 家庭・地域との連携について

番号	項目	保護者		児童		教職員	
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1	学校は、家庭や地域への連絡や情報提供を積極的に行い、学校の教育活動に活かしている。	3.04	3.09			3.63	3.53
2	学校教育活動に、地域の環境や人材が活かされている。	3.00	3.19			3.67	3.75

4 職員について

番号	項目	保護者		児童		教職員	
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1	教職員は、子どもたちや保護者の相談や悩みごとなどに適切に応じている。	3.01	2.98	3.41	3.62	3.52	3.19
2	教職員は、学習指導について着実に力をつけようと努力している。	3.01	2.97	3.40	3.55	3.33	3.41
3	教職員は、子どもたち一人一人の特性に応じた配慮や支援をしている。	2.95	2.88	3.49	3.59	3.48	3.47

【学校評価への考察】

調査の結果から、全15項目のうち8項目については、保護者・児童・教職員全ての平均が3以上と概ね良好であり、創立150周年記念事業を中心とした児童主体の学校行事等の実施をはじめ、学校として取り組んできた教育活動について、一定の評価をいただいたと考えております。しかしながら、今年度の学校体制や教育環境、指導内容について、改善が必要な点もあつたことがわかりました。改善が必要な項目については早速検証し、今後の学校教育目標達成に向け、教職員一丸となって取り組んでまいります。御協力ありがとうございました。

- 項目1-3について、校内のトイレや流しなどの公共の場所や公共物の使用ルールやマナーに関して、道徳や学級活動を通じて、“なぜルールやマナーがあるのか”“どのように使用したらよいのか”など、児童自らが考えることを大切に指導を行ってまいりました。引き続き、児童自身が必要感を感じられるような指導を行うと共に、児童が集中し、気持ち良く過ごせる学習環境にするために、ユニバーサルデザインの視点を大切に教室環境を整えるよう努めてまいります。施設面では、校舎の老朽化に伴う各所の雨漏り等の不具合については、その都度修繕を要望しております。廊下、図書室、第3校舎昇降口の雨漏りについては修繕を終えました。また、今年度、5、6年生の教室の床及びロッカーの改修を行い、他の教室についても、今後順次学校施設課による改修工事が入る予定です。引き続き、施設設備の改善を要望するとともに、安全面での不安がないように点検を行ってまいります。
- 項目1-5について、各学級において児童へのいじめ防止授業を実施し、教職員についてもいじめ防止のための研修を行ってまいりました。また、教職員全体でいじめに対する認識や対応方法を確認すると共に、確実な情報共有により共通認識を図るなど、組織的な対応に努めてまいりました。今後は、道徳や学級活動などの授業や体験活動などを通して、児童同士が互いを認め合い、心の結びつきを深められるような関係づくりを行うと共に、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に向けて、定期的なアンケートや面談はもちろんのこと、スクールカウンセラーや校内の相談窓口を周知し、児童が相談しやすい環境を整えるなど教育相談体制の強化を図ってまいります。
- 項目2-3について、学校生活において、「あいさつ、言葉遣い、時間を守る」等、社会の中で人と関わるうえでの大切な資質を身につけることについて、更なる成長が望まれています。日常生活指導においては、“なぜそうすることが必要なのか”を考えることを通して、児童自身が「けじめのある生活」の必要性を実感し、主体的に行動できるように導くと共に、本校の特色とも言える地域の方々との交流など、社会の様々な人と関わる機会を活かし、児童自らがその良さや大切さを味わえるように引き続き取り組んでまいります。

- 項目2-5について、一昨年度より、GIGAスクール構想による児童1人1台のタブレット端末を用いての学習を行っています。授業においては、集めた情報をもとに発表資料を作成したり、児童の意見を全体で共有したりするなど、タブレットやICT機器を効果的に活用することで、学びを深める授業作りに取り組んでいます。その一方で、授業以外の場面における児童のタブレット端末の使い方に課題となる点も散見されました。タブレット端末の使い方や使用上のルールやマナーについて、「流山市タブレット活用のルール」に基づいた指導を行うと共に、情報モラルについても併せて指導してまいります。
- 項目4-1について、児童との会話や児童と共に活動することなど、日常的な関わりを大切に、児童との信頼関係づくりに努めると共に、児童の相談に対して傾聴し真摯に受け止めることで、児童が安心して相談できる環境作りに努めてまいります。また、児童の様子について、日頃より家庭と情報を共有し、家庭と学校が児童の成長を支えるパートナーとなるよう連携を図ります。
- 項目4-2について、学習においては子どもたちが自ら課題を見つけ、課題解決に必要な力を身につけていくことが求められています。教科学習や様々な行事を通して、「させられる学習」ではなく、児童自身が達成感や充実感を味わい、課題解決への意欲を高められるよう、授業改善を行うと共に、指導方法や授業スキルを深め高めるための教職員の研修を積極的に実施し、日々の授業に活かせるように努めてまいります。
- 項目4-3について、個々の持つ特性や状況に応じて、座席の位置、課題の内容や量の調整、個別の具体的な声かけなど、できる限り個に応じた支援を行えるよう努めてまいりました。今後は、児童の様子を共有するなど、積極的に家庭との連携を図ることで、目標とする姿を明確にし、より効果的な支援をしてまいります。また、児童の支援について教職員間で共通理解を図り、組織的な支援体制の構築を目指します。